

1. 設置経緯

情報通信研究機構は、大阪ステーションシティ(以下「施設」という。)において、災害発生時における避難誘導等への活用にも期待されるリアルタイムの大規模人流の統計的計測把握等を目的とした実証実験環境の構築を進めてきている。

本実験では、いくつかの固定地点に設置した映像センサー(カメラ)により当該地点を行き交う不特定多数の者を撮影し、その映像から抽出する特徴量を使って分析結果を集計し統計処理を行い、人流把握精度等の検証を行うことを目的としている。また結果については、本実験実施に際して協力いただく施設管理者にも提示し、得られた人流統計情報の避難誘導等への活用における可能性について確認頂くこととしている。

本実験は、その情報取得過程において、不特定多数の施設利用者の映像を取得しかつ映像処理結果を利用するものであることから、被撮影者のプライバシー保護・個人情報保護及びこれらに係る情報セキュリティ確保について、特に慎重かつ十分な措置を講じる必要がある。実証実験環境の構築および実験装置設置場所の所有者との調整においても、当機構として慎重かつ十分な措置となるよう実施してきた。

- 当機構では、本実験では、個人情報保護に関する法令に則って、取得映像、映像処理により得られたデータを適切かつ厳重に扱うこととしている。これらのデータについては、本実証実験の目的以外での利用を行わないこと、取得映像は取得した施設内で不可逆処理を行い、元の映像が復元不可能かつ特定の個人が識別できない情報に変換し、元の映像は変換後直ちに消去すること、実験期間中は実験を行っていることが分かるよう、実験対象区域において必要な周知を行うなどの措置が必要と判断し、措置を講じることとして、実験システムをデザインし、プライバシーポリシー、実験システム運用ルールの素案等を検討している。
- 実験を開始するにあたって、これらの講じる措置が適切であるかについては、外部の有識者により構成される第三者委員会を設け、本委員会において確認頂くこととしてきたところである。

「映像センサー使用大規模実証実験検討委員会」の設置経緯等

2. 検討項目

本委員会では、本実験の実施にあたり特に慎重かつ十分な検討が求められる次の事項に関する計画・措置等についての調査及び検討を行う

1. プライバシー保護上の課題
2. 個人情報保護上の課題
3. 情報セキュリティ確保上の課題

3. 検討スケジュール

